

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4414
24年1月12日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

2024年の課題 大幅賃上げと要員の確保

おはようございます。年末年始繁忙(以下、年繁)が終わりました。先週の未来にも書きましたが、比較のおだやかな年繁だったと思います。一方、年賀葉書をはじめとする郵便物の少なさに漠然とした不安を覚えた年繁でもありました。皆さんはどのように感じましたでしょうか。郵政ユニオンまでお伝えください。

昨年5月にコロナ感染が5類に変更となりコロナ禍生活が終わりました。コロナ禍前の日常に戻ったわけですが、皆さんの生活はコロナ禍前と比べて楽になりましたか? 「未来」では、今年の課題として、賃上げ及び最低賃金改定への取り組みと、ヤマト運輸との協業による増加する業務量及び、郵便物の減少によるコストカット(経費削減)

などへの対応について考えていきます。

今回は賃上げと賃金最低賃金(以下、最賃)改定への取り組みについてです。厚生労働省によると、昨年10月の物価変動の影響を除いた実質賃金は、前年同月比で19か月連続のマイナスで、前年から2.3%減少しています。10月分なので春闘による賃上げはもとより最賃改定の影響も出始めているにもかかわらず、食料品や光熱費などの物価高が続き、多少の賃上げや最低賃金の改定では追いつけない状態が続いています。

昨年の物価上昇率は3%を超える高水準だったといわれます。高い数字なのでしようが庶民の感覚からしたら、たった3%強?嘘でしょ!という気持ちです。下記の表は消費者庁が発表している生活関連物資(一部抜粋)の価格動向です。私たちの生活に特に関係が深いと思われる下記13項目は平均で25%も上昇しています。生活改善のためには、政府が言う物価上昇3%強に相当す

る賃上げではなく、生活に直結する物資の物価上昇率を上回る大幅な賃上げが必要となります。



ここで昨年の春闘での賃上げと最賃改定を振り返ります。

春闘(しゅんとう)とは、「春季生活闘争」の略称で毎年2月頃から行われるベースアップ等の賃金の引上げや労働時間の

短縮などといった労働条件の改善を交渉する労働運動です。

昨年の春闘では、基本給を底上げするベースアップ(ベース)と定期昇給(定昇)を合わせた賃上げ率は平均で3.58%。3%を超えたのは1993年以来29年ぶりと高水準を獲得しました。

また賃上げに連動する形となる最賃改定では、全国加重平均額が1004円(昨年度961円)、平均43円(4.5%)の引き上げでした。長崎県の最賃は45円引き上げられ898円となりました。

した。時給の45円の引き上げは、毎月の給与として一日7時間週35時間勤務(21日勤務計算)で6615円、一日8時間週40時間勤務(21日勤務計算)で7560円の賃金改善となります。



久しぶりに賃金(給与)が上がった23春闘と最賃改定ですが、生活改善には全然足りません。10%を超える賃上げと最低100円を上回る最賃引き上げを目指して取り組む必要があると考えます。

カテゴリ	R3年1月	R4年1月	R5年1月	R5年11月
食パン	100.47	104.5	112.06	118.35
カップ麺	99.51	100.3	108.44	118.89
牛乳	99.37	99.82	107.74	117.09
ヨーグルト	99.7	98.92	105.41	111.8
卵	100.52	103.5	126.31	156.94
食用油	99.98	119.1	142.69	137
スナック菓子	100.88	103.1	111.95	119.49
アイスクリーム	102.18	101.2	107.69	115.09
弁当	101.41	102.7	108.14	109.79
おにぎり	99.07	104	109.97	114.29
冷凍調理(惣菜)	99.32	103.5	117.67	130.74
果実飲料	103.19	102.2	105.19	129.1
洗濯用洗剤	108.12	113	132.73	147.23

【参考資料】
・消費者物価指数(総務省統計局)
・一人当たり名目賃金・実質賃金の推移(内閣府)
・毎月勤労統計調査(厚生労働省)
・生活関連物資価格動向(消費者著)

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員希望者全員が正社員化を。

めげず、均等待遇を。

ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら

